

学校支援会報

■令和 元年 7月31日発行 第4号 ■編集 学校支援地域本部事業 一関市学校支援事業室根地域支部 事務局

全力演奏！ 室中太鼓

室根中
学校では、
本年度も
「室中太
鼓」の活
動への取
り組みが
始まりま
した。対



楽譜を説明しながら 指導する 奥野さん

象となる2・3年生から希望者31名が集まり、奥野幸市さんに指導していただいています。

3回目の練習日となった7月22日、時間前の柔剣道場では、子どもたちが、太鼓の準備を整えて、



前回までの復習も バッチリ！

奥野さんの到着を待っていました。奥野さんが到着すると、大きな声で元気にあいさつ。全員の意気込みが感じられました。

今回、初めて参加した2年生の女子生徒は、「先輩の演奏を見て、かっこよかったから。」2年連続参加している3年生の女子生徒は、「なかなか体験できないことなので。」「地域に貢献したかった。」と、参加の理由を教えてくださいました。やぐら太鼓を担当する男子生徒は、「ミスを少なくして、いい曲になるようにがんばりたいです。」、リーダーの3年生の男子生徒は、「全力で声を出し、全力で演奏したいです！」と、それぞれ意気込みを力強く話してくれました。



休憩時間に 楽譜を確認

演奏披露イベントは、全3回。練習回数は、11月まで全15回。

長い練習期間ですが、奥野さん、最後までご指導よろしくお願いたします。



かけ声も 揃っています

ひまわりで 元気いっぱい！

室根東小学校で7月24日、ボランティアの小山純子さんにご協力いただき、展示コーナーの飾りつけを行いました。

折り紙や色画用紙で作った、大きささまざまなひまわりの花や葉をガラス窓に貼りつけると、窓辺がパッと明るくなりました。見ているだけで、元気が出てきそうな装飾に仕上がりました。小山さん、ご協力いただき、ありがとうございました。



すっかり 夏らしく なりました

短冊に 願いを込めて……

室根東小学校で、6月下旬から7月中旬にかけて、1階の展示コーナー、1・2階のワークスペースに七夕を彩る笹飾りが登場しました。竹は、3本とも、菅原輝一さんのお宅からいただきました。

展示コーナーの飾りつけは、ボランティアの小山純子さんに依頼しました。折り紙でつくった、金魚や提灯、星形やハート形の飾り、輪飾りや色とりどりの短冊をつりました。

1階のワークスペースには1年生が、2階のワークスペースには2・3年生が、それぞれ七夕の飾りつけを行いました。折り紙や切り紙などでつくった飾りと、願い事を一人ひとりが書いた短冊を飾りました。

竹を提供してくださった菅原さん、飾りつけをしてくださった小山さん、子どもたちの学びの環境づくりにご協力いただき、本当にありがとうございました。



七夕飾りをつるす 小山さん



1階 展示コーナー



上手に 飾りつけました



1階 ワークスペース



2階 ワークスペース



みんなの願い 叶うといいね

陸前高田市のコーディネーターと 交流！

7月10日、一関市学校支援事業室根地域支部の地域コーディネーター2名が、今年度より、地域学校協働活動として新たに取組みを進める陸前高田市の、コーディネーターの資質向上を図ることを目的とした「地域学校協働活動に係る統括・地域コーディネーターの研修会」（会場：陸前高田市コミュニティホール）に参加しました。

はじめに、地域コーディネーターが、「ともに育む地域の子どもたち」と題し、一関市学校支援事業室根地域支部の活動内容を紹介しました。写真やイラストを交えて紹介し、ご参会のみなさまには、活動



実践事例を 発表

内容への理解を深めていただいたことと思います。ご清聴ありがとうございました。

次に、参加者同士の

情報交換が行われました。東西の地区にわかれた陸前高田市のコーディネーターのみなさんのグループに、東地区には佐藤が、西地区には小野が、それぞれ参加しました。活発な意見交換が行われ、最後に、それぞれの地区の統括コーディネーター2名が、話し合った内容を発表し合い、情報を共有しました。

情報交換に参加し、陸前高田市のコーディネーターのみなさんと交流することができました。

これからも、学校・地域が一体となり、地域の子どもたちを育てていく体制を整えていきたいと考えております。ご協力よろしくお願いいたします。



陸前高田市のみなさんと



活発な 意見交換